

ソフトウェア工学 レポート 課題9~10

2025年5月26日, 7月10日授業分

学籍番号：35714121

名前：福富隆大

上級情報処理技術者試験問題の感想

システムアーキテクト試験、プロジェクトマネージャ試験、ITサービスマネージャ試験の過去問題は授業内容の応用になっていました。以下に、これらの試験問題の感想を述べます。

- **授業全体との関連** この授業内容は、提供された試験問題の**背景にある基礎知識と実践的な思考プロセス**を網羅していると言えます。例えば、「上流工程：要件定義、アーキテクチャ設計」[授業内容3-4]はシステムアーキテクト試験の根幹であり、アジャイルなどの「開発プロセス」[授業内容7-8]はプロジェクトマネージャ試験で問われる内容です。「仮想化技術とデプロイ」[授業内容11]は、ITサービスマネージャ試験におけるコンテナ技術の課題と直接関連します。
- **これまで受講してきた授業や演習で得た知識や、現在の自分のスキルと比較して、問題の難易度をどのように感じたか** これまでの授業で幅広いトピックを体系的にカバーしたソフトウェア工学の基礎を学びました。しかし、試験問題を解くにはもっと授業の内容を深く理解する必要があると感じました。また、試験問題が実務に即した内容であることから、**実務経験がないと難しい**と感じました。
- **システム開発・運用に関わる職業について、自分はどの職種に適性があるかと考えるか、またどの職種に関心があるか、その職種で求められる技術力や対人スキルにどのような興味があり、それはなぜか** この授業内容と試験問題を見ると、私は特に**システムアーキテクト**や**プロジェクトマネージャ**の職種に関心があります。
 - **システムアーキテクト**は、「要件定義、アーキテクチャ設計」[授業内容3-4]など、システムの全体像を設計する役割であり、複雑な問題を構造化し、最適な解決策を導き出す技術力に興味があります。
 - **プロジェクトマネージャ**は、「開発プロセス：アジャイル」[授業内容7-8]や「品質・コスト・納期」[授業内容1-2]の管理に関わり、技術的な知識に加え、多様なステークホルダーとの対人スキルが重要になります。チームを動機付け、課題を解決していくプロセスに魅力を感じます。

これらの職種では、単にコードを書くだけでなく、**ビジネス要件を理解し、技術と人を繋ぐ能力**が求められるということがわかりました。